

平成20年2月29日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 TEL (06) 6209-8500 (代表)

新規透明エポキシ樹脂封止材料開発のお知らせ

当社は、子会社であるペルノックス株式会社（以下「ペルノックス」）と、有機・無機ハイブリッド技術を使った透明エポキシ樹脂封止材料を共同開発いたしましたのでお知らせいたします。

記

荒川化学グループは、中期5ヵ年経営計画（平成15年4月～平成20年3月）において「新規事業の創生」を基本方針のひとつとして掲げ、その取組みを強化しております。筑波研究所は、その重要な役割を担っており、新たな視点からの研究開発に取り組んでおります。

従来のエポキシ樹脂は、被着体に対する接着性、硬化収縮性、耐熱性等に特長を有する樹脂ではありますが、透明封止材料用途においては透明性を維持しつつ、さらなる耐衝撃強度の向上が求められております。今回、開発いたしました透明エポキシ樹脂封止材料は、筑波研究所において「コンポセラン[®]」(*)の技術をベースに、シリカを十数ナノレベルの大きさでエポキシ樹脂に複合化する技術を開発し、ペルノックスの配合技術と融合させることにより、従来には達成し得なかった耐衝撃強度、弾性率等の機械的強度の向上を達成しました。特に、シリカ含有率が高いにも関わらず流動性に優れており、硬化物の透明性が高く、耐候性にも優れる特長を有しています。

これらの特長を活かすことにより、透明封止材料をはじめコイル注型材料、透明基板材料など広範囲にわたる用途への応用が期待されます。

- (*) 当社ではこれまでに、独自の「位置選択的分子ハイブリッド技術」を駆使した熱硬化型（ゾルゲル硬化型）の有機・無機ハイブリッド材料である「コンポセラン[®]」シリーズを開発し、その事業化を推進しております。「コンポセラン[®]」は、有機成分としての各種樹脂と無機成分としてのシリカ（ガラス）を分子レベルで複合化させることにより、樹脂の持つ優れた加工性や柔軟性と熱に強いシリカのそれぞれの長所を合わせ持つ複合材料であり、高耐熱性、無機材料への高い密着性、高い耐溶剤性などの特長を実現しております。

以上

【本開発案件に関する問い合わせ先】

荒川化学工業株式会社 光電子材料事業部 営業部
電話番号 03-5645-7805
ペルノックス株式会社 エポキシ第1事業部
電話番号 0463-86-8003